



プログラム

第一部 阪神・淡路大震災の教訓とその発信

開会の挨拶 五百旗頭 真 (公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長)
 主催者代表挨拶 井戸 敏三 (兵庫県知事)
 基調講演 田中 明彦 (独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 理事長)

第二部 阪神・淡路大震災の教訓の海外での活用

JICA帰国研修員の活動事例紹介 (トルコ、中国、チリ、フィリピン、インドネシア)

パネルディスカッション

～国際協力を通じた防災人材育成について～

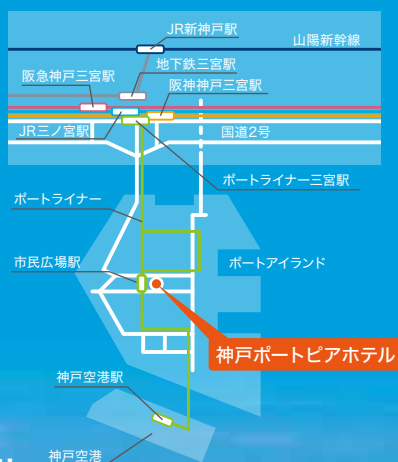
2015年
1月18日(日)

主催：
独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構
兵庫県

第一部 10:00～11:50
第二部 13:30～17:00

定員 150名

会場 神戸ポートピアホテル
大輪田の間



阪神・淡路大震災復興20年特別シンポジウム

災害の教訓と

これからの国際協力

防災・復興がつかないだ兵庫と世界

参加費
無料
同時通訳有

お申し込み方法

氏名、所属、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを明記のうえ、ファックスまたはメールでお申し込みください。

【問い合わせ】 TEL: 078-261-0386 FAX: 078-261-0465 e-mail: jicaksic-drlc@jica.go.jp

住所: 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 JICA関西内

阪神・淡路大震災復興20年特別シンポジウム運営事務局



阪神・淡路大震災復興20年 特別シンポジウム

災害の教訓と これからの国際協力

～防災・復興がつないだ兵庫と世界～

2015年1月18日(日)

第一部 10:00～11:50

第二部 13:30～17:00

定員 150名

会場 神戸ポートピアホテル
大輪田の間

参加費
無料
同時通訳有

未曾有の大災害から20年。国際協力機構（JICA）が海外の途上国の行政官などを対象に実施してきた研修事業を通して、阪神・淡路大震災の教訓が海外にどのように伝えられ、活かされてきたか、過去のJICA研修参加者（帰国研修員）の自国での活動成果発表により振り返る。また、今後の防災人材育成のあり方について、防災分野で活躍する国内の有識者が「国際協力を通じた防災人材育成」をテーマに意見交換を行う。

●プログラム

10:00～11:50

第一部 阪神・淡路大震災の教訓とその発信

オープニング 合唱 西灘小学校「しあわせを運ぶ合唱団」

開会挨拶 公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長 五百旗頭 真

主催者代表挨拶 兵庫県知事 井戸 敏三

基調講演 独立行政法人 国際協力機構（JICA）理事長 田中 明彦
「国際協力の潮流とJICAの防災協力について」

13:30～17:00

第二部 阪神・淡路大震災の教訓の海外での活用

JICA帰国研修員の活動事例紹介

事例① トルコに人と防災未来センターをモデルとした防災館を設立
トルコ 内務省 大臣官房知事（元ブルサ県知事）
シャハベッティン ハルプット

事例② 中国四川大地震におけるこころのケア
中国 中国科学院心理研究所 主任
龍 迪（ロン ディ）

事例③ チリの小学校を中心とするコミュニティの防災教育活動
チリ タルカワノ市リスク管理部 課長
サエズ ボリス

事例④ ピナトゥボ火山を想定した住民自助の取り組み
フィリピン バンバンガ州グアグア町グアグア町議会 事務局長
兼グアグア町防災会議 顧問
パンガニバン イサイアス ジュニア メンドーサ

事例⑤ 救急救助を学んだインドネシアの帰国研修員が東日本大震災でレスキューとして活動
インドネシア 国家捜索救助庁 レスキュートレーニングセンター センター長
ノール イスロディン

パネルディスカッション ～国際協力を通じた防災人材育成について～

コーディネーター	兵庫県国際交流協会理事長	齋藤 富雄
パネリスト	神戸市消防局長	岡田 勇
	人と防災未来センター長	河田 恵昭
	兵庫県こころのケアセンター長	加藤 寛
	神戸学院大学教授	清原 桂子
	JICA地球環境部長	不破 雅実

閉 会

※講演者の都合で内容が一部変更になる場合があります。